

赤ちゃん絵本(0~2歳向)

よんで よんで



羽村市図書館

おとうさん おかあさんへ

はじめに

赤ちゃんは成長とともに興味を少しずつ広げていきます。寝返りができるようになった頃からおひざにのせて絵本を見せてあげると良いと思います。



なぜいいの？

★ことばの発達に

日々の語りかけに加え、絵本を楽しむことで、目と耳を刺激し、より多くの言葉を獲得できます。そのためには、きれいで正しい日本語が使われた絵本をおすすめします。

★情緒の安定に

テレビのスイッチを切って、親子で1冊の絵本を読むのは、ほんわかとしたひとときです。赤ちゃんにとって、お母さんやお父さんの声は安堵感やぬくもりを与え、こころの発達が促されます。

読むときは…



★気軽に

赤ちゃんがいつでも、手に取れるところに本をおいてあげましょう。きっと、よい友達になるでしょう。

★好きなところを

赤ちゃんの興味をひいたページをいっしょにじっくり味わってみましょう。絵本のとおりに読むこともありません。

★何度もくり返し

本に慣れてくると、自分の好きな本を持ってきて、何回も読まされることがあります。でも、おっくうがらずに、くり返し読んであげてください。何度も読んでいくうちに、赤ちゃん自身がイメージを広げ、理解力、想像力もついてくるのです。

★いつでも

赤ちゃん期はいつでも好きなときに読んであげましょう。だんだん眠る前の親子のおたのしみの時間になるといいですね。



①はじめてのえほん

わかりやすい色やかたちのあるもの、語感に、くりかえしやリズムのあるものを中心にあつめました。

いない いない ばあ

松谷 みよ子／作
瀬川 康男／絵

童心社
E／セ



「いない いない ばあ」は赤ちゃんが喜ぶ遊びの1つです。その遊びを絵本の中で、身近な動物たちがやってくれます。ページをめくると動物たちの楽しい笑顔が待っています。

ころころころ

元永 定正／作

福音館書店
E／モ



くり返しのリズムと移り変わっていく色が楽しめます。絵の雰囲気に合わせて「ころころころ」を、声で表現してあげてください。いろいろなリズムや抑揚に、赤ちゃんも楽しんでくれますよ。

くっついた

三浦 太郎／作

こぐま社
E／ミ

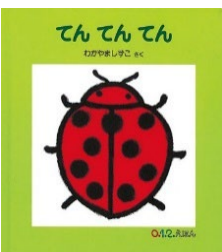


動物たち、赤ちゃんとお母さんとお父さん。いろんな「くっついた」が楽しいふれあい絵本です。かわいい絵、やさしい色でぬくもりを感じることができる一冊です。

てんてんてん

わかやま しずこ／作

福音館書店
E／ワ



「てんてんてん」「ぐるぐるぐる」「ひらひらひら」言葉に合わせてかわいい虫たちが、登場します。ハッキリとした色使いとしっかりとした線で描かれている、とっても見やすい絵本です。

じゃあじゃあびいびい

まつい のりこ／作

偕成社
E／マ



赤ちゃんが生活の中で目にするものや耳にする音が、耳なじみの良い擬音語でたくさん出てきます。赤ちゃんはリズムカルな言葉の繰り返しが大好き。身近なものと音が繋がります。

②おはなしがきけるようになったら



少しずつ言葉やものがわかりはじめてきたら、おはなしの絵本も読んであげてください。動物や食べ物、家での生活などをテーマにした身近でわかりやすいものをあつめました。

よこむいてにこっ

高畠 純／作

絵本館
E／夕



かわいい笑顔。おもしろい笑顔。たくさんの「にこっ」に出あえる絵本です。おもわず赤ちゃんも「にこっ」としてくれるかもしれません。

がたんごとん がたんごとん

安齋 水丸／さく

福音館書店
E／ア



「のせてくださーい」汽車の上に、哺乳瓶やスプーンなど赤ちゃんの身近なものをひとつずつ乗せていきます。「がたんごとん」のリズムを楽しみながら読んであげてください。

おいし〜い

いしづ ちひろ／作
くわざわ ゆうこ／絵

くもん出版
E／ク



ころころおにぎりにほくほくかぼちゃ。赤ちゃんが好きなものをぱくぱく食べて、いっしょに「おいし〜い」って言いましょう。自然と笑顔になる絵本です。

ごぶごぶごぼごぼ

駒形 克己／作

福音館書店
E／コ



鮮やかな色や形、リズムカルな音を楽しんでください。あちこちにあいている穴から指を出して、動かして見せたりしても、赤ちゃんは喜んでくれそうですね。

ばいばい

まつい のりこ／作

偕成社
E／マ



にっこり笑って、てをふりながら「ばいばい」。あかちゃんといっしょに、ごあいさつ。「こんにちは」「ばいばい」をゆっくりと楽しんでください。



③ほんになれば

自分でページをめくれるようになったら、かくれているどうぶつを見つけたり、動きを楽しむ絵本はいかがですか？

ぴょーん

まつおか たつひで／作・絵

ポプラ社
E/マ



縦に開いていく絵本です。いろんな動物たちが「ぴょーん」と大きく飛び跳ねます。動きのあるカラフルな絵と「ぴょーん」という音が重なって、赤ちゃんも楽しくみってくれることでしょう。

なーんだなんだ

カズコ G. ストーン／作

童心社
E/ス



「なーんだなんだ」の言葉につれて、少しずつ見えてくるものはなんでしょう？
歌うように読んでみるのもたのしいですね。

ぽんぽんポコポコ

長谷川 義史／作・絵

金の星社
E/ハ

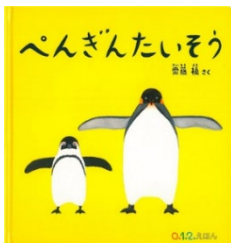


いろんな動物が「ぽんぽんポコポコ」とおなかをたたいて音を鳴らします。おひざに赤ちゃんをだっこして、いっしょにおなかを「ぽんぽんポコポコ」するとたのしいですよ。

ペンギんたいそう

齋藤 槇／さく

福音館書店
E/サ



ペンギんたいそうはじめるよ！ペンギんの動きに合わせて、いきをすってー、はいてー。親子でいっしょにたいそうすれば、たのしい気分になりますよ。

ほんちんぱん

柿木原 政宏／作

福音館書店
E/カ



「ぱんぱん〇〇ぱんほんちんぱん」の言葉にのせていろんなパンが登場します。パンをちぎってみると、ゆかいな顔のパンに変身！言葉のリズムが楽しい写真絵本です。

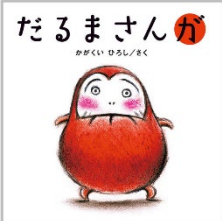


④すこしおおきくなったら

2才くらいになると、かんたなおはなしの世界へ入っていくことができます。くりかえしのあるお話や、絵本の主人公に自分をかさねて共感できるおはなしがおすすめです。

だるまさんが

かがくい ひろし/作
ブロンズ新社
E/カ



「だるまさんが」と左右に動く姿や表情。「どてっ」「ぷしゅーっ」など…いっしょにまねしたり、くちずさみたくなる絵本です。

ねないにだれだ

せな けいこ/さく・え
福音館書店
E/セ



こんなじかんにおきているのはだれだ？ふくろうにみみずくくろねこ…おばけのじかんになったのにあれれ…。どうなっちゃうのかなあ？！

しろくまちゃんのほっとけーき

若山 憲/え
こぐま社
E/ワ



しろくまちゃんがおかあさんと一緒にホットケーキを作ります。ぽたあんどろどろぴちぴちぴち…リズムカルな音でホットケーキが焼き上がっていく様子にワクワクします。

おててたち

竹内 祐人/さく
くもん出版
E/タ



きつねさんとくまさんが…ありさんともぐらさんが…そして、パパやママと、わたしのおててたち。じょうずにできたかな？みんなニコニコえがおになります。

わにわにのおふろ

小風 さち/ぶん
福音館書店
E/ヤ



おふろずきのワニのわにわに。おきにいりのおもちゃをうかべ、せっけんであわあそび・・・わにわにをおもいだしながらのおふろは、たのしい「おふろタイム」になりそうです。